

《履修上の留意事項》各講義担当者の授業内容を聴講し、自らの卒業論文テーマを絞り込むこと。ただし、指導教員は学生の希望に合致しない場合もある。

《担当者名》 児玉壮志 kodamas@hoku-iryo-u.ac.jp 坂上哲可 鎌田樹寛 本家寿洋 浅野雅子 近藤里美 浅野葉子 朝日まどか 桜庭聡 西出真也 吉田彩華 依田泰知 山田桃子

【概要】

ディプロマポリシーに掲げられた5つの要件を満たす前段階として、これまでの北海道医療大学における学修の総まとめとする。

【前期】作業療法研究セミナーの到達目標である卒業研究の遂行に向けて、論文の読み方について学修する。また、本学入学後の講義や実験・実習を通して抱いた興味や関心に基づいて、研究指向する領域やテーマを決定する。加えて、研究テーマを決定するプロセスとして、各教員の研究領域に関わるプレゼンテーションを受講し、自身の興味関心に基づいた論文を通読する。

【後期】実験研究、調査研究、質的研究の一連の流れについて学修する。また、配属された担当教員の下で、研究課題を設定し具体化する。具体的には、担当教員指導の下で論文抄読や議論を通して課題の設定に至るプロセスを学修する機会とする。さらに、これら成果の発表として研究構想発表会を行う。

【学修目標】

自身の研究的興味・関心に基づいたテーマを研究計画作成に取り組む。

1. 自身の興味のある研究分野の論文を探す。
2. 自身の研究的興味・関心の領域を焦点化する。
3. 焦点化した研究的興味・関心の課題を具体的に述べる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 教員プレゼンテーション	・作業療法研究セミナーのオリエンテーション、卒業論文作成の説明 ・精神障害領域の研究など	児玉壮志
2	論文の読み方	・論文検索の方法 ・論文の種類 ・論文の構成	児玉壮志
3	論文の読み方	・調査研究の論文の読み方	児玉壮志
4	論文の読み方	・実験研究の論文の読み方	桜庭聡
5	論文の読み方	・質的研究の論文の読み方	朝日まどか
6	教員プレゼンテーション	・基礎医学領域の研究 ・文学領域の研究 など	西出真也 山田桃子
7	教員プレゼンテーション	・音楽療法領域の研究 ・精神障害領域の研究 など	近藤里美 浅野雅子
8	教員プレゼンテーション	・身体障害領域の研究 など	本家寿洋 坂上哲可
9	教員プレゼンテーション	・身体障害領域の研究 など	桜庭聡 吉田彩華
10	教員プレゼンテーション	・老年期障害領域の研究や人の作業に関する研究 ・老年期障害領域の研究 など	鎌田樹寛 浅野葉子
11	教員プレゼンテーション	・老年期障害領域の研究 ・発達障害領域の研究 など	朝日まどか 依田泰知
12	論文の読み方	・英語論文の読み方	桜庭聡
13	論文データベース	・論文データベースの作成	児玉壮志

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	今後の授業展開	・担当教員案の発表	
14	システマティックレビュー	・システマティックレビューの方法	児玉壮志
15	今後の授業展開	・担当教員の発表 ・各ゼミの今後の展開	児玉壮志
16) 21	各研究手法の演習	・実験研究の実際 ・調査研究の実際 ・質的研究の実際	桜庭聡 児玉壮志 朝日まどか
22) 30	個別研究指導	・ゼミ単位での論文抄読や議論 など	学科の全教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

担当教員ごとに研究課題の設定に向けた取り組みの過程と努力などを評価する（100％）。

【教科書】

配布資料「作業療法研究セミナー ・ 卒業論文作成の手引」

【参考書】

担当教員の指導による。

【学修の準備】

自身の興味・関心の領域や課題をまとめるために、これまでに学習した内容を整理すること。
そのために事前学修と指導後の探索・学修にそれぞれ160分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を
実践できる能力を身につけている。